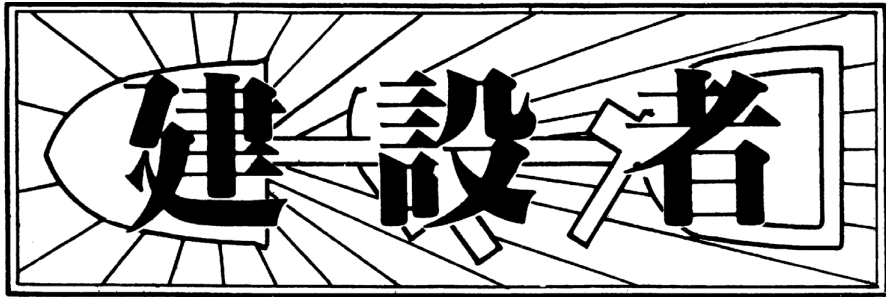


今月の葛飾組織現勢

2020年10月1日	4,395人
加 入	85人
転 入	1人
脱 退	28人
転 出	2人
2020年11月1日現在	4,451人



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電 話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 関 根 伸 正

秋の
拈大月間

9分会が達成

秋の仲間増やしの月間（拡大月間）は、9・10月の2か月間にわたって取り組みました。新型コロナウイルスの影響から、行動が制限される中ではあったものの、その対策をしっかりとしながらジャンボ

5%として取り組みました。拡大数は、たつみの18人がトップでした。中央分会では、法人設立から従業員を含めた社会保険適用による加入があり、序盤から加入数を伸ばしてきました。

た、昨年から継続して行っているKポイント（訪問1件＝1ポイント／ポスター1か所＝1ポイント／宣伝行動＝3ポイント）については、水元分会の367ポイントがトップで、次いで本田立石分会が2

Kポイント

49人減少

達成分会は、たつみ・奥戸・青戸・中央・細田高砂・柴又・新金町・幸田・水元の9分会。目標を組織人数の3・

ジャンボハガキの応募状況は、450人の応募のうち5人が未加入対象者の紹介でできると回答がありました。ま

11月1日の組織人数は、4451人となり、1月1日と比べると49人のマイナスとな

周りで建設業に従事しているが、まだ未加入の方がいましたら、ぜひ、組合加入をすすめてください。

っています。

年間目標については、564人を目標として344人の加入で推移しています。春の月間は、新型コロナウイルスの影響からほとんど行動することができなかったことも影響して、年間残数は220人となっています。

この仲間を増やす運動は、多くの組合員の参加で、多くの仲間を迎え入れ、組合運動を進めるうえでも必要な取り組みとなります。年末拡大は、支部目標数を22人とし、各分会1〜3人の目標数としていますが、年間の目標残を少しでも減らすことができるように取り組み、組織実増をめざしていきましょう。

	2020 年 1月 1日 付	2020 年 11月 1日 付	1月比 増減	秋の 拡大 目標	秋の拡大 成果表																		11月1日現在
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
たつみ	525	523	－2	18	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	増減▼2
奥戸	396	403	7	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					増減◎7
本田 立石	326	327	1	11	●	●	●	●															増減◎1
青戸	160	165	5	6	●	●	●	●	●	●													増減◎5
中央	391	395	4	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				増減◎4
堀切	262	260	－2	9	●	●	●																増減▼2
亀有	392	388	－4	14	●	●	●	●	●	●													増減▼4
細田 高砂	381	369	－12	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					増減▼12
柴又	186	191	5	6	●	●	●	●	●	●	●												増減◎5
新金町	333	331	－2	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						増減▼2
北水元	212	215	3	7	●																		増減◎3
幸田	279	281	2	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								増減◎2
水元	415	401	－14	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	増減▼14
その他	230	200	－30	8	●	●	●	●	●														増減▼30
合計	4488	4449	－49	157	9月50人 10月78人 合計＝128人																		

1月1日付人員比 マイナス 49人



役所前宣伝ティッシュ箱

公契約宣傳再開

9月10日に取組んだ東京都宛の予算要求ハガキ要請行動は、皆さんの協力のもと3250枚を集約することができました。改めて感謝申し上げます。11月・12月は、財務省宛のハガキ要請行動になります。改めてご協力お願い申し上げます。

土建国保の安定運営には、国と都の補助の現行水準確保が必要です。現行水準確保のために国に対しては、厚労省宛に6月～8月と財務省宛に11月～12月に取り組み、都に対しては、9月～10月取り組んできました。

催が予定されているが、本当にこのような状況で開催ができるのであろうか。いま、ヨーロッパでは感染者が再び急激に増えている状況である。これから冬を迎える日本は、感染者を抑え込むことができるのであろうか。

私たち一人一人ができる取り組み（ハガキ要請行動）で、現行水準確保に向けた運動を進めていきましょう。感染予防をしながら可能な範囲で多くの組合員・家族の協力をお願いします。

来年は、2011年3月11日の東日本大震災から10年が経とうともしている。あの当時の映像は記憶に残っているであろう。未だに福島原発は終息の目途が立っていない。将来にわたっては、いつ起こ

【貸対部発】10月20日（火）

7時45分〜8時30分、葛飾区役所前で公契約条例制定に向けた宣伝行動に取り組みました。参加者は賛金対策部員及びPAL会員4名と書記1名でした。今までは毎月20日前後に宣伝行動を行っていました。

今年、東京土建の組合運動は、どうであつたろうか。群会議をはじめ、様々な人の集まりが制限され、対策を求められてきた。仕事に影響があった組合員も多く、今でも組合事務所へ給付金や国保減免

で、直接手渡しではなく部員が作りしてくれた箱にティッシュを入れて、ご自身で取って頂くスタイルで行いました。配布個数は約100個といつもより少なかったです。試行錯誤しながら続けていきます。

多い。秋の拡大運動も、少なからず雇用情勢や、訪問行動に影響を受けながらも取り組んできたが、目標達成できなかったところである。いずれにしても一日も早い日常生活に戻ることを切に願う。



集まった対都要請ハガキ

寅さん

秋も深まり、11月。今年も残すところ2ヶ月を切ったところである。

スに振り回された年であり、将来にわたって令和2年、2020年は多くの者の記憶に残ることであろう。来年は、

増税反対宣伝

工夫しながら再開

【税対部発】今年久々の駅頭宣伝を17時30分～18時まで限定30分だけの短い時間でしたが、行いました。

東部会計2名、部員6名、書記2名、の計10名。2団体の参加で行いました。

いつもは、スポットの原稿を読み上げ、声を出しながら手渡しでポケットティッシュを配り、看板を設置する方法の駅頭宣伝でしたが、今年は

コロナウイルス対策として、部員にはみんなマスクした上でフェイスシールドをし、手持ち出来る箱にポケットティッシュを入れ、直接手渡しではなく取ってもらい、さらに使い捨ての手袋をもらって

た感染予防を徹底したやり方で実施しました。また、自由にお取りいただけるように、椅子に箱を置き箱の中にポケットティッシュを入れて

通行人とのソーシャルディスタンスを保ちながらの新しい取り組みも実施しました。

その取り組みもあり、30分だけの駅頭宣伝でしたがポケットティッシュ50個を配ることが出来ました。

今後の課題として、通常の駅頭宣伝のように声を出したりとはできないので今後どうやって通行人に問題を定義できるかが課題だと考えます。



ソーシャルディスタンスをとった増税反対宣伝行動

群役員学習会

ブロックごとに開催 71人が参加



【教育宣伝部発】通常年度初めに行う群役員学習会は、新型コロナウイルスの影響から延期をしていましたが、支部教育宣伝部主催で場所を支

部会館で、10月13・17・19・23日にブロックごとに開催をしました。密にならないように参加者を新任役員を中心に参加と限定したこともあり、

第1ブロックが対象の学習会(13日)

4日間合計で71人と少なめの参加者となりました。学習会は、群役員の仕事・新加入・経済・国保・財政の5分野で行いました。また、毎年行っている分会役員学習会については、今年度は中止になっていま

本田立石 包丁研ぎ

多くの住民が参加



本田立石分会は「木根川中央公園」で10月25日(日)に「無料の包丁研ぎ・住宅相談」を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で毎年開催されている地区センターまつりが軒並み中止となっていますが、地域住民の要望もあり、感染防止対策を講じたうえで開催となりました。

当日は密集を避けるため工作教室の開催は取りやめましたが、多くの住民が参加し、建築職人による包丁研ぎや住まいの相談を受けていました。近くに住む60代の女性は「自分でやるのも上手くできないので、このような機会があるのはありがたいです」と話していました。

対策を取りながらの包丁研ぎ

場者約75人(内住宅相談2件)の参加。砥いだ包丁は約120本となりました。本田立石分会では、なかまの団結力を生かしてコロナ禍においても工夫を凝らしながら行事を開催していきます。

火災・地震・自転車などなど

加入促進月間中です

東京土建では、火災共済・地震共済・自動車共済・自転車共済など各種生活支援の共済・保険制度を取り扱っています。何かあったときに自身を補償する制度です。未加入の組合員さんはこの機会に加入をしましょう。

賃貸物件にお住いの方は家財補償の共済加入はお済でしょうか。どけん火災共済では、建物だけでなく、家財に対しても補償する制度があります。

持続化給付金

家賃支援給付金

国保減免制度(土建国保加入者)

まだ申請していない方は、支部事務所まで相談ください。

インフル補助

土建国保加入者は、本人・家族含めてインフルエンザの予防接種補助申請できます。(年度内1回2000円)

募集中

アマビエイラストコンテスト実施中です。締切は12月24日です。詳細は支部までお問合せください。

仲間の作品応募しよう

毎年行っている仲間の作品コンクールにみなさん応募しませんか?このコンクールは、今年で第37回となります。応募要綱は左記のとおりです。

【応募要綱】

○文芸部門：短歌、俳句、川柳
※3部門の中から、一人につき1部門5作品まで応募可。
○写真部門：組合活動、スナップ、風景(この部門は、A4サイズもしくは六つ切りでの応募)。今年の課題は「家族の笑顔」です。(課題部門は、スマホ撮影限定)
○締切：12月末(支部業務日まで)

